

新しい大阪へ 11・22 W選

橋下「維新」政治

勝手に栗原（貴子府知事候補）、柳本（頭二あきら）大阪市長候補）応援団第一号の平松です。

大阪維新の会は、いま何がかわけがわからなくなっています。その原因は、橋下（徹・大阪市長）さんの、自分に従わないものは敵とみなし、その人の言論を封殺する、価値観が一つでないといけないということからきています。「ワン大阪」というのが大阪維新のいわゆる党是になっていきます。何もかも価値観が一つの社会、こんな恐ろしい社会をみなさん望むのですか。

上から目線、お上に任じておいたら、うまくいくというような橋下「維新」政治が一番似合わないのが民力のまち、ここ大阪のはず

なのです。この大阪からはまた維新の会に終止符を打つのが今回のダブル選挙です。

数字だけ挙げて

民主主義って何でしょうか。選挙で勝ったら何でも



前大阪市長 平松 邦夫さん

民力のまちから日本変える

できる。そう思っているのが、大阪維新の人たちです。大阪維新は、多くの人たちが大変な思いをしているこの大阪、いろんな矛盾点がある大阪で、単に数字をカットカットカット。税金、公費をこれだけカットしましたと言って、その数字だけを挙げてさも手柄のように言っています。

め、本当に夜遅くまで、窓口を開け、中小企業を助けるために頑張りました。そこでがんばってくれた職員というものに対して、私は誇りを持っています。

教育現場が悲鳴

橋下「維新」政治のこの8年間に、どんどん大阪が恥ずかしくなることが山ほど出てきています。

（「ワン大阪」、二つあるものは一つにすればいいと言っけれど）たとえば府と市の信用保証協会が統合されました。しかし、思い出してください、あの2008年秋のリーマン・ショック。この時に、大阪市の信用保証協会は多くの市内の中小企業のみなさんのた

大阪維新は、民営化とか、民間ではとよく言いますが、民間でも、民間企業の経営者が最後に一番大事にするのは、社員、人の力をどれだけ育てるかということなんです。単に上から押さえつけて自分の価値観に従わな

いものは去れ、切ったらいというはおかしいと思います。これは教育にも現れ、大阪の教育は大変なことになりました。

（3日、大阪市内での訴えから）